愛と死をみつめて（1964）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 日本
色彩 B&W
時間 118分
初公開日 1964/09/19
公開情報 日活

【解説】
難病に冒された大島みち子と大学生の河野実による往復書簡集としてベストセラーとなった書籍『愛と死をみつめて―ある純愛の記録』を、八木保太郎が脚色し斎藤武市が監督。主演に吉永小百合を迎え、実話を元にした悲恋映画として大ヒットした。
大学生の高野誠は、入院先の病院で小島道子と出会った。かわいくて清純な道子に、誠は一目惚れ。しかし二年後に再会したときも、道子は相変わらず病院生活を送っていた。どうにか高校を卒業した道子だったが、軟骨肉腫が再発し入院。誠は道子との文通を続け、時間ができると病院へ見舞いに行くようになる。しかし道子の病状は悪化、命を守るために顔半分を失う手術が必要となった。誠の励ましに道子は手術を決意。大手術の果てに顔を半分失ったが、様態は安定し、道子は元の明るさを取り戻そうとしていた。

【クレジット】

監督	斎藤武市	
企画	児井英生	
原作	大島みち子	
	河野実	
脚本	八木保太郎	
撮影	萩原憲治	
美術	坂口武玄	
編集	近藤光雄	
音楽	小杉太一郎	
助監督	鍛冶昇	
出演	浜田光夫	高野誠
	吉永小百合	小島道子
	笠智衆	小島正次（道子の父）
	原恵子	母
	内藤武敏	Ｋ先生（道子の主治医）
	山田禅二	和歌山のおじさん（患者）
	宇野重吉	中山仙十郎（患者）
	北林谷栄	吉川ハナ（患者）
	ミヤコ蝶々　Miyako Chocho	佐竹トシ（患者）
	笠置シヅ子	中井スマ（患者）
	杉山元	大久保（高野の友人）
	木下雅弘	黒木（高野の友人）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

紀原土耕	寮の賄いのおじさん
河上信夫	病院の用務員
初井言栄	オールドミス
光沢でんすけ	市場の売手
加藤洋美	照子
大谷木洋子	二組の夫婦
石丘伸吾	二組の夫婦
坂巻祥子	二組の夫婦
小柴隆	二組の夫婦
恩田恵子	同志社の学生
岩記照栄	同志社の学生
水森久美子	同志社の学生
西原泰江	同志社の学生
平塚仁郎	アベック
樽井釉子	アベック
宮川敏彦	アベック
大塚トミエ	アベック
有田双美子	若い看護婦
鏑木ハルナ	中年の看護婦
北出桂子	看護婦
清水千代子	看護婦
高田栄子	看護婦
浜口竜哉	寮生
藤野宏	寮生
宇田川守雄	寮生
新村猛	寮生
井田武	寮生
三船好重	患者
深川真喜子	患者
鈴木俊子	患者

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.